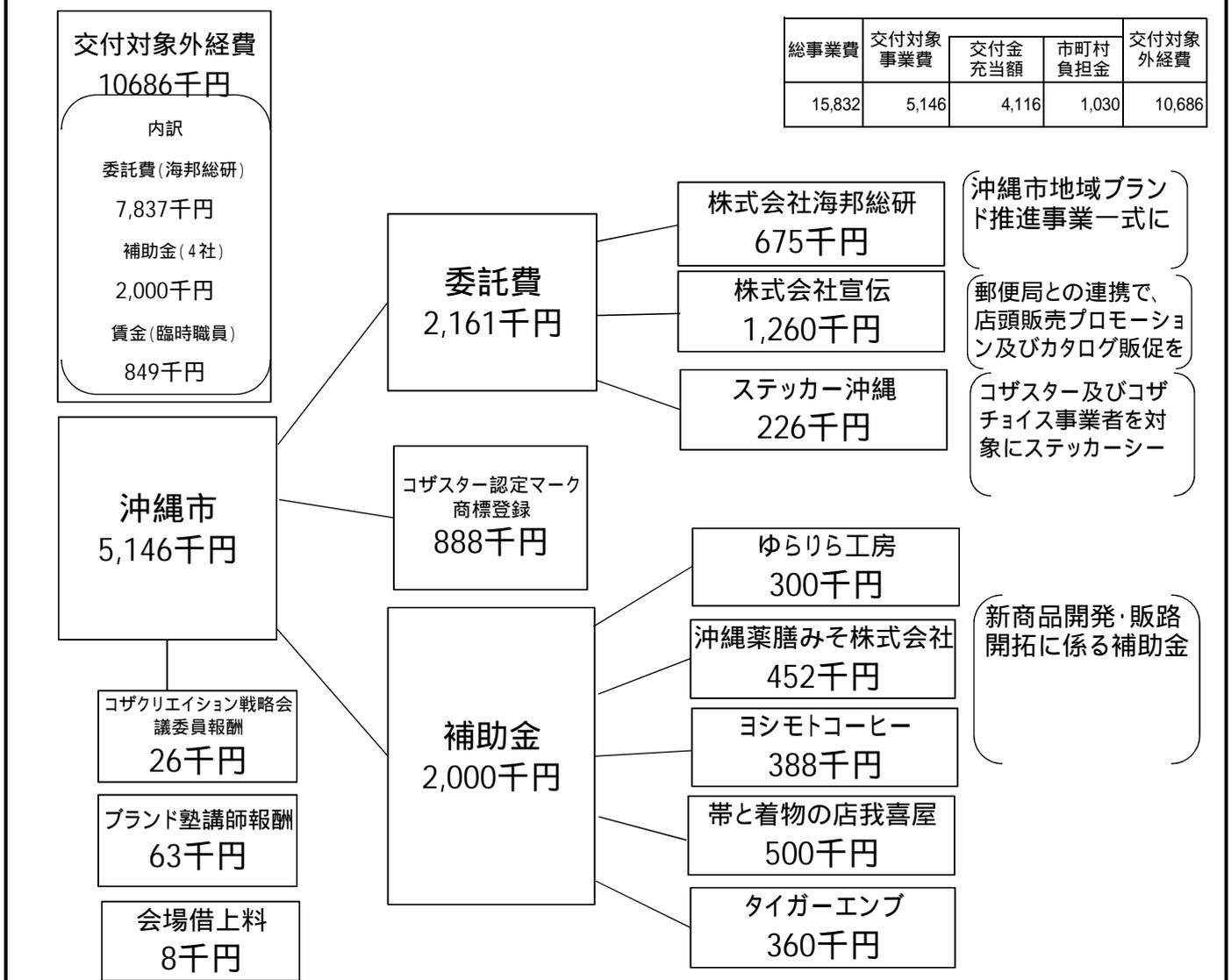


市町村名		沖縄市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-		地域ブランド推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ	
	担当部課名	経済文化部 商工振興課		事業実施(予定)年度	平成24~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 -3-(2)
事業内容	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市のブランド品として認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	15,945	-			
		(b)予算現額	5,146	-			
		(c)増減額(b-a)	10,799	-			
		(d)前年度繰越額	-	715			
		A.計(b+d)	5,146	715			
	B.執行済額		4,431	715			
	うち交付金充当額		3,544	572			
	次年度繰越額		715				
	執行率(%) (B/A)		86.1%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。当初予算額と予算減額の開きについては、最終的な交付対象経費を予算減額に記載したためである。コザスターマーク商標登録について、登録を年度内に処理できるよう特許庁へ早期審査依頼を提出したが、急を要さないとの理由で次年度の審査となったため、繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度(8-)	26年度(7-)	27年度(6-)	
	新商品開発 商品の高付加価値化 コザスター認定マーク商標登録 展示即売会の開催	目標	(5件 3件 1件 23業者)	()	()	()	
	実績	5件 3件 1件(H25に繰り越し後登録済) 16業者					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド推進事業補助金の公募により、5商品の新商品開発を実施した(うち、3商品は高付加価値化も併用して実施)。 コザスター認定マークの商標登録をH25に繰り越し後、登録済。繰り越しが生じた理由としては関係機関による商標登録の処理に不測の日数を要したため。 沖縄郵便局との連携により、店頭にて展示即売会を実施。16業者が参加した。目標数は23業者だったが、郵便局側の要件を満たしている業者が少なかったこと、時期などの事業者の都合が合わない等の理由から、目標業者数には至らなかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度(8-)	26年度(7-)	目標値(28年度)
	コザスター商品認定数 コザチョイス商品選定数	目標	()	(6商品 60商品)	()	()	()
		実績		6商品 65商品			
	【参考指標】 新商品販売個数 食品(薬膳味噌) 食品(カフェオレベースのリキュール) 特産品(三線の形の写真フレーム) 特産品(ヘルメットバック) 特産品(帯タペントリー) 新商品販売売上額	目標	()	(商品開発)	()	()	(1,200個 2,000千円)
		実績		6個 74千円			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄市地域ブランド推進事業補助金の公募により6件の応募があり5件の採択・商品開発に至った。 平成24年度に新商品開発した商品について、年度内のほとんどを開発と改良に時間を要するため、一部年度内に販売できた商品を除き、平成25年度より本格的な販売を開始した。 平成24年度に補助金を活用し新商品開発を行った商品で、平成25年度にコザスターの認定を受ける商品(1商品)が誕生した。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>コザスター及びコザチョイスへの募集に対して、年々応募数が減少傾向にあり、また、認定(選定)件数も減少している状況である。</p> <p>既存商品をはじめ、商品の掘り起しや認定に向けたブラッシュアップ支援なども必要である。</p> <p>本市が予定していたプロモーション等の支援策と事業者が求めている支援策とで合わないものもあったため、より効果的な支援策の検討が必要である。</p> <p>新商品開発した商品について、年度内のほとんどが開発と改良に時間を要するため、年度内の販売までには至らない。</p>	<p>コザスターの公募数を増やす目的として、事業者の認知度向上のため周知も強化する必要がある。</p> <p>コザスター認定商品数を増やす目的で、一度、認定に至らなかった商品でも、ブラッシュアップ支援として、商品の高付加価値化への支援なども取り入れる必要がある。</p> <p>また、認定(選定)事業者がどういった支援策を望んでいるのか、認定事業者や関係団体の意見をきいて事業者ニーズに合ったより効果的な支援策を検討する必要がある。</p> <p>販売初年度にあたることから、商品のPR等の支援策が必要である</p>
	今後の取り組み方針	
<p>コザスター及びコザチョイスの認定(選定)数の増加やより効果的な事業展開を図るため、今後は事務局を沖縄市から民間団体(沖縄市観光物産振興協会)へ移管し、事業者への制度の周知活動や相談体制の強化を図るとともに、より事業者や市民のニーズに即したプロモーションの展開を図っていく。</p> <p>また、事業実施者となる沖縄市観光物産振興協会や専門委員で構成する「コザスター戦略会議」と連携し、認定(選定)に向けた商品の掘り起しやブラッシュアップ支援を強化していく。</p> <p>新商品開発のフォローアップとして、沖縄市産業まつりで、ブースを設け、新商品紹介や試食コーナーなどを実施し、支援していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



千円未満を端数処理したため、合計金額が一致しない場合があります。

資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○地域ブランド補助金に関しては、総事業費の3分の1を受益者負担としていることから、受益者との負担関係は妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	